

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 30

千葉県立船橋芝山高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

人物が優れ、本校を志願する動機・理由が適切であり、能力及び適性を有し、かつ、次のア又はイのいずれかに該当する生徒

ア 学業成績が優秀であること。

イ 生徒会活動・部活動等において実績を有し、さらにその力を伸ばす意志があり、かつ、学業成績が優れていること。

2 選抜資料

| | |
|----------|-------------------------------------|
| (1) 学力検査 | 5教科の学力検査の得点 |
| (2) 調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| (3) 面接 | 受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：一組あたり10分程度 |

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------|-------------------------------|
| ア 5教科の得点合計 | 5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 |
| イ 個々の教科の得点 | 0点の教科がある場合は、審議の対象とする。 |

(2) 調査書

アの数値を「調査書の得点A」とする。アの数値に、イ・エ・オについて加点（上限40点）したものを「調査書の得点B」とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|----------------|--|
| ア 教科の学習の記録 | 算式1で求めた数値で評価する。 全学年の計が6以下の教科がある場合は、審議の対象とする。 |
| イ 出欠の記録 | 3カ年皆勤について加点する。 3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。 |
| ウ 行動の記録 | 必要に応じて○の数を、総合的に判定する際の参考とする。 |
| エ 特別活動の記録 | 役職や活動実績について加点する。 |
| オ 部活動の記録及び特記事項 | 活動実績や資格等について加点する。 |
| カ 総合所見 | 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 |

(3) 面接〔9点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。

2名の評価者が、すべての評価項目でc評価とした場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|---------------|---|
| ア 志望動機等 | 志望の動機が明確である。 |
| イ 高校生活に対する意欲等 | 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。 |
| ウ 質問に対する応答・態度 | 服装・頭髪等身だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付いている。質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 |

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」と「調査書の得点A」の合計により順位をつけたとき、次のパーセント以内の順位にある者は、入学許可候補者として内定する。

（ア）受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の70%

（イ）受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の70%

ただし、学力検査の個々の教科の得点、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録及び第2日の検査（面接）の結果等に問題となる点がないこと。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点B」の合計に「第2日の検査（面接）の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

| 学力検査 の成績 | 調査書の得点 | | 第2日の検査の得点 | 総得点 |
|-------------|------------------------|-----|-----------|------------------------|
| | 評定（算式1） | 加点 | 面接 | |
| 500点 | $(135 + \alpha - m)$ 点 | 40点 | 9点 | $(684 + \alpha - m)$ 点 |

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 30

千葉県立船橋芝山高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

| | |
|----------|-------------------------------------|
| (1) 学力検査 | 5教科の学力検査の得点 |
| (2) 調査書 | 中学校の校長から送付された調査書 |
| (3) 面接 | 受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：一組あたり10分程度 |

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

| 評価項目 | 評価基準 |
|------------|-------------------------------|
| ア 5教科の得点合計 | 5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 |
| イ 個々の教科の得点 | 0点の教科がある場合は、審議の対象とする。 |

(2) 調査書

| 評価項目 | 評価基準 |
|--------------------------------|--|
| ア 教科の学習の記録 | 算式1で求めた数値で評価する。 全学年の計が6以下の教科がある場合は、審議の対象とする。 |
| イ 出欠の記録 | 3カ年皆勤を評価し、総合的に判定する際の参考とする。 3年間の欠席日数の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。 |
| ウ 行動の記録 | 必要に応じて○の数を、総合的に判定する際の参考とする。 |
| エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項 | 特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 |
| オ 総合所見 | 記載内容に問題がある場合は、審議の対象とする。 |

(3) 面接

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者が、すべての評価項目でc評価とした場合は、審議の対象とする。

| 評価項目 | 評価基準 |
|---------------|---|
| ア 志望動機等 | 志望の動機が明確である。 |
| イ 高校生活に対する意欲等 | 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。 |
| ウ 質問に対する応答・態度 | 服装・頭髪等身だしなみが整えられており、基本的な面接作法が身に付いている。質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 |

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。